



2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年10月31日
東

上場会社名 住友ファーマ株式会社 上場取引所
 コード番号 4506 URL <https://www.sumitomo-pharma.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野村 博
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート コミュニケーション担当 (氏名) 野口 直記 (TEL) 06-6203-5321
 四半期報告書提出予定日 2023年11月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	152,642	△52.2	△65,849	—	△86,498	—	△67,736	—	△67,741	—	8,044	△82.7
2023年3月期第2四半期	319,289	8.7	24,841	△48.2	△28,915	—	△15,243	—	△7,283	—	46,472	—

(参考) 税引前四半期利益 2024年3月期第2四半期 △56,127百万円 2023年3月期第2四半期 21,034百万円

※コア営業利益は、営業利益から当社が定めた非経常的な原因による損益(調整項目)を除いて算出しています。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△170.51	—
2023年3月期第2四半期	△18.33	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	1,148,855	412,045	412,007	35.9	1,037.04
2023年3月期	1,134,742	406,782	406,749	35.8	1,023.80

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	14.00	—	7.00	21.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に帰 属する当期利益		基本的1株当たり当 期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	362,000	△34.8	△62,000	—	△78,000	—	△80,000	—	△201.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社(社名) 、除外 4社(社名) Myovant Sciences Ltd.
Sumitomo Pharma Oncology, Inc.
Sumitovant Biopharma, Inc.
Myovant Sciences, Inc.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期第2四半期	397,900,154株	2023年3月期	397,900,154株
② 期末自己株式数	2024年3月期第2四半期	608,798株	2023年3月期	608,365株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期第2四半期	397,291,474株	2023年3月期第2四半期	397,292,574株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれていません。これらの事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しています。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画・目標などが記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通しなどが記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件などにつきましては、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・医薬品・医療機器(開発中のものを含む)に関する情報が含まれていますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- ・四半期決算短信の開示とあわせて、四半期決算補足資料および四半期決算説明会資料を開示しています。
- ・当社は、2023年10月31日(火)に機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向けに、第2四半期決算説明会を開催する予定です。この決算説明会の動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	5
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、国際会計基準（以下「IFRS」）に準拠した連結財務諸表を開示しています。

なお、文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

(1) 経営成績に関する説明

(業績管理指標「コア営業利益」について)

当社グループでは、IFRSの適用にあたり、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しています。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、以下のとおりです。

(単位：億円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	増減	増減率 (%)
売上収益	3,193	1,526	△1,666	△52.2
コア営業利益	248	△658	△907	—
営業利益	△289	△865	△576	—
税引前四半期利益	210	△561	△772	—
四半期利益	△152	△677	△525	—
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	△73	△677	△605	—

■ 売上収益は1,526億円（前年同四半期比52.2%減）となりました。

非定型抗精神病薬「ラツダ」の米国での独占販売期間が終了した影響や、住友ファーマフード&ケミカル株式会社の全株式を譲渡したことに伴い、同社が当社グループ傘下でなくなったことなどから、減収となりました。

■ コア営業損益は658億円の損失（前年同四半期は248億円の利益）となりました。

北米グループ会社の再編等による販売費及び一般管理費の減少に加え、住友ファーマアニマルヘルス株式会社の株式譲渡によるその他の収益の計上がありました。減収による売上総利益の減少の影響が大きく、コア営業損失となりました。

■ 営業損益は865億円の損失（前年同四半期は289億円の損失）となりました。

前年同四半期には、特許権等の減損損失がありましたが、当四半期はコア営業損失になったことに加え、北米グループ会社の再編等に伴う事業構造改善費用を計上したことにより、営業損失は前年同四半期と比較し増加しました。

■ 税引前四半期損益は561億円の損失（前年同四半期は210億円の利益）となりました。

円安の進行により為替差益を計上しましたが、営業損失の影響が大きく、税引前四半期損失となりました。

■ 四半期損益は677億円の損失（前年同四半期は152億円の損失）となりました。

税引前四半期損益が損失となったことから、四半期損失は前年同四半期と比較し増加しました。

■ 親会社の所有者に帰属する四半期損益は677億円の損失（前年同四半期は73億円の損失）となりました。

四半期損失の増加の影響が大きく、非支配持分に帰属する利益を控除した親会社の所有者に帰属する四半期損失は前年同四半期と比較し増加しました。

(セグメント業績指標「コアセグメント利益」について)

セグメント別の業績では、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しています。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分方法を変更したことに伴い、前第2四半期連結累計期間についても変更後の報告セグメント区分に組み替えて比較を行っています。当該報告セグメントの変更の詳細は、「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) (2) 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

<日本>

■ 売上収益は585億円（前年同四半期比40.3%減）となりました。

2型糖尿病治療剤「ツイミーグ」や「ラツータ」などの売上が伸長しましたが、2022年12月に2型糖尿病治療剤「トルリシティ」の販売提携が終了したことに加え、前年同四半期にはライセンス契約の契約一時金の売上収益計上があったことや、2023年3月末に住友ファーマフード&ケミカル株式会社、2023年5月末に住友ファーマアニマルヘルス株式会社について、それぞれの全株式を譲渡したことに伴い、当該2社が当社グループ傘下でなくなったことなどから、減収となりました。

■ コアセグメント損益は59億円の利益（前年同四半期比54.6%減）となりました。

販売費及び一般管理費は減少しましたが、減収による売上総利益の減少の影響が大きく、減益となりました。

<北米>

■ 売上収益は733億円（前年同四半期比62.5%減）となりました。

進行性前立腺がん治療剤「オルゴピクス」、子宮筋腫・子宮内膜症治療剤「マイフェンブリー」、過活動膀胱治療剤「ジェムテサ」の売上は増加しましたが、「ラツータ」の米国での独占販売期間が2023年2月に終了した影響が大きく、減収となりました。

■ コアセグメント損益は422億円の損失（前年同四半期は473億円の利益）となりました。

「ラツータ」の独占販売期間終了および北米グループ会社の再編等に伴い販売費及び一般管理費は減少しましたが、減収による売上総利益の減少の影響が大きく、コアセグメント損失となりました。

<アジア>

■ 売上収益は208億円（前年同四半期比19.5%減）となりました。

東南アジアにおいて売上収益は増加しましたが、中国において薬剤費抑制策の影響を受けたカルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」の売上減少の影響が大きく、減収となりました。

■ コアセグメント損益は99億円の利益（前年同四半期比29.6%減）となりました。

減収による売上総利益の減少により、減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産については、非流動資産では、為替換算の影響によるのれんや無形資産の増加に加え、当社が保有する投資有価証券の公正価値評価の変動等によりその他の金融資産が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,032億円増加しました。

流動資産は、棚卸資産は増加しましたが、現金及び現金同等物やその他の金融資産が減少した結果、前連結会計年度末に比べ891億円減少しました。

これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ141億円増加し、1兆1,489億円となりました。

負債については、北米での売上割戻金にかかる引当金やその他の流動負債等が減少しましたが、金融機関からの借入金等が増加した結果、前連結会計年度末に比べ89億円増加し、7,368億円となりました。

資本合計は、利益剰余金が減少しましたが、保有投資有価証券の公正価値変動および円安の影響によりその他の資本の構成要素が増加した結果、前連結会計年度末に比べ53億円増加し、4,120億円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は35.9%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期損失となったことに加え、引当金が減少したことや法人所得税の支払額が増加したことなどにより、前年同四半期に比べ2,040億円収入が減少し、1,745億円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却や住友ファーマアニマルヘルス株式会社の株式譲渡に伴う子会社の支配喪失による増加等により、前年同四半期に比べ256億円収入が増加し、327億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加等により、前年同四半期に比べ714億円収入が増加し、448億円の収入となりました。

上記のキャッシュ・フローに、現金及び現金同等物に係る換算差額および売却目的で保有する資産への振替額を加えた結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は604億円となり、前連結会計年度末に比べ831億円減少しました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2023年5月15日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【要約四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	319,289	152,642
売上原価	92,841	60,323
売上総利益	226,448	92,319
販売費及び一般管理費	207,913	134,044
研究開発費	49,980	50,356
その他の収益	3,178	6,445
その他の費用	648	862
営業利益 (△は損失)	△28,915	△86,498
金融収益	51,698	32,022
金融費用	1,749	1,651
税引前四半期利益 (△は損失)	21,034	△56,127
法人所得税	36,277	11,609
四半期利益 (△は損失)	△15,243	△67,736
四半期利益 (△は損失) の帰属		
親会社の所有者持分	△7,283	△67,741
非支配持分	△7,960	5
四半期利益 (△は損失)	△15,243	△67,736
1株当たり四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失)	△18.33	△170.51

【要約四半期連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益 (△は損失)	△15,243	△67,736
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動	△8,558	45,556
確定給付負債(資産)の純額の再測定	—	△2
純損益にその後に振り替えられる可能性の ある項目：		
在外営業活動体の換算差額	70,138	30,226
キャッシュ・フロー・ヘッジ	135	—
その他の包括利益合計	61,715	75,780
四半期包括利益合計	46,472	8,044
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者持分	42,808	8,039
非支配持分	3,664	5
四半期包括利益合計	46,472	8,044

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	58,909	60,202
のれん	209,415	234,568
無形資産	329,314	356,580
その他の金融資産	134,007	182,906
未収法人所得税	6,042	6,767
その他の非流動資産	4,350	5,633
繰延税金資産	10,845	9,453
非流動資産合計	752,882	856,109
流動資産		
棚卸資産	94,405	107,610
営業債権及びその他の債権	95,908	93,892
その他の金融資産	20,174	8,025
未収法人所得税	2,722	2,995
その他の流動資産	17,675	19,827
現金及び現金同等物	143,478	60,397
小計	374,362	292,746
売却目的で保有する資産	7,498	—
流動資産合計	381,860	292,746
資産合計	1,134,742	1,148,855

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債及び資本		
負債		
非流動負債		
社債及び借入金	244,128	244,212
その他の金融負債	11,869	12,532
退職給付に係る負債	5,008	4,938
その他の非流動負債	57,756	47,573
繰延税金負債	36,505	56,808
非流動負債合計	355,266	366,063
流動負債		
借入金	90,588	139,588
営業債務及びその他の債務	52,141	57,712
その他の金融負債	7,010	13,906
未払法人所得税	24,053	12,592
引当金	119,083	92,527
その他の流動負債	78,013	54,422
小計	370,888	370,747
売却目的で保有する資産に 直接関連する負債	1,806	—
流動負債合計	372,694	370,747
負債合計	727,960	736,810
資本		
資本金	22,400	22,400
自己株式	△682	△682
利益剰余金	280,999	217,421
その他の資本の構成要素	103,357	172,868
売却目的で保有する資産に 関連するその他の包括利益	675	—
親会社の所有者に帰属する持分合計	406,749	412,007
非支配持分	33	38
資本合計	406,782	412,045
負債及び資本合計	1,134,742	1,148,855

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定	在外営業活動体の換算差額
2022年4月1日残高	22,400	16,725	△681	514,210	23,838	—	31,273
四半期利益(△は損失)	—	—	—	△7,283	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△8,558	—	58,514
四半期包括利益合計	—	—	—	△7,283	△8,558	—	58,514
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△5,562	—	—	—
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	1,011	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△763	763	—	—
所有者との取引額等合計	—	1,011	△1	△6,325	763	—	—
2022年9月30日残高	22,400	17,736	△682	500,602	16,043	—	89,787
2023年4月1日残高	22,400	—	△682	280,999	39,260	—	64,097
四半期利益(△は損失)	—	—	—	△67,741	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	45,556	△2	30,226
四半期包括利益合計	—	—	—	△67,741	45,556	△2	30,226
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△2,781	—	—	—
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	675	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	6,269	△6,271	2	—
所有者との取引額等合計	—	—	△0	4,163	△6,271	2	—
2023年9月30日残高	22,400	—	△682	217,421	78,545	—	94,323

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		売却目的で 保有する資産に 関連するその他 の包括利益			
	キャッシュ・ フロー・ヘッジ	合計				
2022年4月1日残高	123	55,234	—	607,888	65,681	673,569
四半期利益(△は損失)	—	—	—	△7,283	△7,960	△15,243
その他の包括利益	135	50,091	—	50,091	11,624	61,715
四半期包括利益合計	135	50,091	—	42,808	3,664	46,472
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1
配当金	—	—	—	△5,562	—	△5,562
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	1,011	3,119	4,130
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	763	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	763	—	△4,552	3,119	△1,433
2022年9月30日残高	258	106,088	—	646,144	72,464	718,608

2023年4月1日残高	—	103,357	675	406,749	33	406,782
四半期利益(△は損失)	—	—	—	△67,741	5	△67,736
その他の包括利益	—	75,780	—	75,780	—	75,780
四半期包括利益合計	—	75,780	—	8,039	5	8,044
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	—	△2,781	—	△2,781
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	△675	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	△6,269	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△6,269	△675	△2,781	—	△2,781
2023年9月30日残高	—	172,868	—	412,007	38	412,045

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益 (△は損失)	△15,243	△67,736
減価償却費及び償却費	22,363	18,659
子会社株式売却益	—	△5,890
減損損失	54,433	—
受取利息及び配当金	△1,664	△1,833
支払利息	1,364	1,595
法人所得税	36,277	11,609
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△11,593	7,873
棚卸資産の増減額 (△は増加)	7,370	△4,006
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△3,306	△2,106
前受収益の増減額 (△は減少)	2,691	△8,552
その他の金融負債の増減額 (△は減少)	629	6,678
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△24	△119
引当金の増減額 (△は減少)	8,214	△38,512
その他	△61,729	△67,716
小計	39,782	△150,056
利息の受取額	1,017	1,402
配当金の受取額	598	497
利息の支払額	△1,255	△1,737
法人所得税の支払額	△10,662	△24,603
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,480	△174,497
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,480	△4,256
有形固定資産の売却による収入	420	384
無形資産の取得による支出	△2,041	△4,183
投資の取得による支出	△4,769	△3,520
投資の売却及び償還による収入	3,056	23,176
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	12,241	10,000
子会社の支配喪失による増減額 (△は減少)	—	11,074
その他	1,638	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,065	32,675
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	559	49,000
長期借入金の返済による支出	△19,980	—
リース負債の返済による支出	△2,360	△1,749
配当金の支払額	△5,563	△2,785
その他	694	331
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,650	44,797
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,895	△97,025
現金及び現金同等物の期首残高	202,984	143,478
売却目的で保有する資産への振替に伴う 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	1,135
現金及び現金同等物に係る換算差額	37,672	12,809
現金及び現金同等物の四半期末残高	250,551	60,397

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しています。

(セグメント情報等)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しています。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

(1) 報告セグメント

当社グループは、主として医療用医薬品の製造、仕入及び販売を行っており、日本、北米、アジアのマーケットごとに医薬品事業の業績管理を行っているため、日本、北米、アジアの3つを報告セグメントとしています。

なお、当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成要素のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、報告セグメントを日本、北米、中国、海外その他の4つとしていましたが、中期経営計画2027の策定に伴い、当社グループの経営状況をより適切に示すため、第1四半期連結会計期間より、日本、北米、アジアの3つの報告セグメントに変更しました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成しています。

(3) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失は、以下のとおりです。

なお、当社グループでは、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しています。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

① 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	日本	北米	アジア	計
外部顧客への売上収益等	98,091	195,337	25,861	319,289
セグメント利益 (コアセグメント利益)	12,921	47,255	14,022	74,198

② 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	日本	北米	アジア	計
外部顧客への売上収益等	58,549	73,277	20,816	152,642
セグメント利益(△は損失) (コアセグメント利益(△は損失))	5,871	△42,178	9,871	△26,436

(4) 報告セグメント合計額と要約四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

調整額に関する事項は、以下のとおりです。

(単位:百万円)

利益	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
報告セグメント計	74,198	△26,436
研究開発費(注1)	△49,373	△45,284
事業譲渡益	—	5,890
その他	16	△19
コア営業利益(△は損失)	24,841	△65,849
減損損失	△54,433	—
事業構造改善費用(注2)	△3,032	△20,283
その他の収益	3,162	574
その他の費用	△648	△862
その他	1,195	△78
要約四半期連結財務諸表の営業利益(△は損失)	△28,915	△86,498

(注) 1 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分していません。なお、要約四半期連結損益計算書における研究開発費との差額は、コア営業利益の算定から除外される研究開発関連費用です。

2 事業構造改善費用は、北米グループ会社等の再編に関連する退職金等の費用です。

(減損損失)

前第2四半期連結累計期間において、医薬品事業の北米セグメントにおいて54,433百万円の減損損失を認識し、要約四半期連結損益計算書の販売費及び一般管理費に計上しています。

当該減損損失は、医薬品事業の北米セグメントにおける、パーキンソン病に伴うオフ症状治療剤「キンモビ」に係る特許権の減損損失54,370百万円、及びソフトウェアの減損損失63百万円です。

「キンモビ」に係る特許権、及びソフトウェアについて、収益性が見込めなくなったため、帳簿価額全額を減額しています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。